

2007 くすのき

VOL. 18

樟樹

樟樹会 新居浜西島等学校同窓会

校内こんなところ(こと)ご存じですか？

第

8

回

定時制の一般者学習開放について

これまで定時制は、主に勤労青少年の学習の場でした。しかし、現在では、不登校であった者、他の高校を中退した者など、いろいろな困難を抱えた生徒が多く入学してくるようになりました。

本年度、全生徒数は、東予地区でも多い79名。多様な生徒とともに学べるといふ恵まれた環境にあります。家庭的な雰囲気の中、不登校だった者を含め、出席率の高いのが本校の特色です。

平成7年度より、東予地区唯一の単位制となり、授業以外に新居浜商業との連携講座、松山東高通信制との併修、高卒程度認定試験などから、各々が卒業に必要な単位を修得しています。昨年は3年次7名、4年次14名が卒業し、4年制大学へ4名、専門学校へ6名が進学し、9名が就職しました。

また、「水墨画入門」、「楽しい英会話」、「愛媛の歴史」などの講座を、新居浜市民に開放し、生涯学習の場を提供しています。40代から70代の市民約30名が、生徒とともに週2時間の講座を、1年間受講しています。生徒たちだけでなく私たち教員も、その学ぶ姿勢に刺激を受けています。

一方、部活動は、卓球、バドミントンが各々3名、県大会を経て全国大会

に出場し、3回戦に進出するなど、すばらしい成果を上げました。それは、定時制同窓会を中心に行われた募金活動から、遠征旅費を全額負担していたなど、同窓会の力強い支援によるものであり、深く感謝申し上げます。

今後、生徒数増加への対応や、定時制教育の充実をはかるため、教室と職員室を、募集停止となった家庭科教棟へ移転させる予定です。新しい定時制課程に御期待ください。



平成19年度 入学式

開かずの扉の向こうにある染色台



この写真を見て、懐かしいと思う人もいるのではないだろうか。これは、主に家庭科の授業で使用する染色台です。昭和57年3月に家庭科新校舎が現在の場所に建築された当時からあったようです。いつ頃まで使用していたかは定かではありませんが、数多くの生徒たちがこれを使用してきました。

昭和31年4月に全日制家庭科が設立され51年。今年で家庭科の長い歴史にピリオドが打たれます。今は使用されていないこの染色台も、数多くの卒業生を輩出してきました。家庭科に幕が下ろされようとも、今後も学校の片隅で生徒たちを静かに見守っていくことでしょう。

会長あいさつ

創立90周年

記念事業に向けて

樟樹会会長 畑田 雅敏 (昭和44年卒)



皆様におかれましては、まずご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。誌面ではございますが平素の疎遠をお詫びし、厚くお礼申しあげます。さて、昨年は未履修問題、それに関連したまさかと思われる出来事がありました。同窓生の皆様には、母校のことに多大なご心配をいただいたのではないかと存じます。同窓会内では、「創立90周年に関する行事等は中止になるのでは。」との声も聞くようになっていました。

しかし、1月に上田耕三学校長が着任され、さまざまな課題の克服に取り組んでこられた上で、創立90周年事業を実施するとの方針を打ちだされました。3月の卒業式では、「様々な苦難を乗り越え、未履修の完全克服を果たし、例年以上の進学成果を残すべく勉学に励みました。」との卒業生代表による答辞に、卒業式に参列した私は、一回り大きく成長した彼らに感動し、さすが西高生と改めて西高魂を感じました。ご参加の保護者、在校生、先生、ともに感動の渦で昨年度の幕は閉じられました。また、創立90周年事業の一環として進めておりました会員名簿の発行は、3月に無事完成し、お申し込みいただいた会員様には、既にお手元に届いていることと存じます。編集に際しご支援ご協力をいただいた方々には深く感謝申し上げます。会員名簿は、同窓会事務局に僅かではございますが在庫がございますので、ご購入ご希望の同窓生の方は、ご連絡いただければ送付

させていただきます。

愛媛県立新居浜西高等学校は平成19年5月3日に、創立90周年を迎えました。10月26日には記念式が挙行される運びとなっております。昭和41年卒業の村上健治大和ハウス工業代表取締役社長による記念講演が行われます。在校生ならびに関係者一同大変喜ばしい限りで心待ちにしております。記念事業として、学校からの希望で、国旗・校旗掲揚台を設置する計画も進められております。

とは言いましても、創立90周年事業へ向けての活動は、本年5月より再スタートを切ったばかりでございます。日数に限りある中、同窓会役員一同全力で取り組んでおります。同窓生の皆様にはこれまで以上のご支援ご協力をお願い申し上げます。そして本年10月の創立90周年記念式および記念行事が無事成功することを祈念し、ごあいさつといたします。



同窓生紹介

「住友企業と学舎(定時制物語)」



Profile

山本 健十郎

(やまもと けんじゅうろう)

昭和29年4月 住友化学(住化分析センター)入社
昭和33年3月 新居浜西高等学校卒業
昭和62年4月 新居市議会議員初当選
(現在に至る)
平成10年4月 住友化学(住化分析センター)退社
平成13年 第56代市議会議長に就任
現在 愛媛陸上競技協会参与
新居浜西高校同窓会理事

その後輩の指導をさ
飾りました。

このことで、愛媛県新居浜西高定時制は、一躍全国の有名校になり、在校生は少し鼻を高くしたことは、今でも脳裏に焼き付いています。

私は現在、同窓会樟樹会の定時制部会長を務めています。その馴れ初めは、住友化学に勤務しながら、昭和62年の4月の新居浜市議会議員選挙に立候補し、当選をしたことから、定時制のお世話と70周年事業のお世話の二つを、先輩から依頼を受けたのがきっかけです。時間の経つのは早いもので、今年、創立90周年事業がやってまいりました。

この新居浜西高等学校のある新居浜市は、平成16年度の台風災害で、全国に大災害の被害報道がなされました。が、ほとんどが現状に復帰しました。一方、住友鉱山、住友化学、住友重機、住友林業、住友共電など住友グループの好況に支えられ、中小企業など含み経済の活性化が進んでいます。

いづれにいたしましても、私が学び、勤務した、新居浜西高等学校と住友グループ(住友化学)に、家族とともに感謝し、今後のご発展を祈念し、市議会議員、同窓会役員として、地域に根ざした教育環境の整備と地域企業発展の環境整備と、住みよい街づくりのために皆さんとともに尽力してまいります。

現役でさえもそう
私の4年間の思
い出は、苦しいこ
との連続でした。
私のように若くて
出ておきます。

いい思い出として留めおきます。
現在の夜間は仕事と併用は少ない
ようで、卒業は単位制で2年、3年、
4年で卒業が出来るが、昔は4年制
でほとんどが働きながらの通学で、
組の半数は所帯持ちの高齢者でし
た。

その当時は、特に住友企業は、資
格試験制度があり昇進の制度を設け
たのを契機に、多くの人が勉学に励
んでいました。
当時の中学生は金の卵と言われ、
新居浜では多くの女性が、住友別子
病院などで、看護婦さんとして働き
ながら、4年間、高卒の資格を取る
ために、昼夜を問わず苦勞し、卒業
していった顔が思い浮かびます。

その中でも、昭和34年に卒業後、
高看護婦の資格を取り、別子病院の
総婦長になられた大西千明さんは、
私の中学の同級生です。現在も元氣
です。高看護婦の資格を取り、別子病院の
総婦長になられた大西千明さんは、
私の中学の同級生です。現在も元氣
です。

2種目制覇と1種目2位の個人で
17点を稼ぎ、フィールド部門優勝を
たことです。

私の中学の同級生です。現在も元氣
です。

私は、中学校3年の後半では、昭和29年の新学期に向けて新居浜西高に入学すべく取り組んでいました。ところが、住友グループ各社から採用の要請が各中学校に入り、その話を先生が親に進めたようです。私は、先生の推薦状を出すから腕だめしに受験してみても、との言葉に騙され、住友化学の入社試験を受けました。その後、合格通知が学校にあり、学校の校内放送で名前入りで合格通知の放送がありました。あわてて先生に会いに行き、どうしても昼間(全日制)にと願ひ出しました。が万事休す。昼間から夜間(定時制)に願書を切り替え、夜間に入学しました。

そのころは、高校への進学は50%位であったと思いますが、今思えば自分の人生は、先生と親に決められたようで、良きも、悪しきも、

「ピアノリサイタルを終えて」



Profile

星加 輝代 (ほしかてるよ)

- 平成 8年3月 新居浜西高等学校卒業
- 平成12年3月 愛媛大学教育学部卒業
- 9月 ハンガリー国立リスト音楽院留学
- 平成16年5月 ハルレッタ市国際ピアノコンクール (イタリア) 第1位受賞
- 7月 ドイツのワイマールにてコンスタンティン・シエルヴァコフ氏のマスターコース受講、同演奏会に出演
- 平成17年5月 ブダペストにてリサイタル開催
- ティアナエ・ネムス国際ピアノコンクール(イタリア) 第3位受賞
- 平成18年1月 松山県文にてポーランドの名門「ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団」のトップメンバーとブラームスピアノ四重奏曲第1番を協演
- 8月 倉敷にてロシア国立チャイコフスキー弦楽四重奏団マスタークラス受講、同演奏会で彼らと協演
- 平成19年5月 新居浜市民文化センター大ホールにて帰国リサイタルを開催

私を育ててくれたこの新居浜で、これからも日々、沢山のことを勉強して、腕と知性と音楽性を兼ね備えたピアニストに成長していきたいと思えます。

5年間のハンガリー留学生生活を終え、去る5月20日、新居浜市民文化センター大ホールにて、帰国リサイタルを開催いたしました。クラシックに対する興味、関心が新居浜市民の皆様に、どの程度浸透しているか、またハンガリー音楽を聴いてみたいと思ってくださる方がいらつしやるか、とても不安に思っていました。

ところが、会場には1000人近い聴衆の方々が駆けつけて下さいました。舞台裏から会場を見回した時、こんなに幸せなことがあっていいのかなあとという思いと同時に、クラシック音楽の素晴らしさと、ハンガリー音楽を皆様に伝える使命感を、ずっしりと背負いました。

私の音楽がどこまで聴衆の皆様の心に届いたかは分かりませんが、しかし、クラシック音楽に生で触れるだけで、脳や耳を驚くほど刺激しています。素敵だったとか、あんまり良くなかったとか、それに感じてはいるはずですが、それが音楽の素晴らしさだと私は思うのです。答えなど世界中探したってないものなのですから。演奏家も聴衆も誰にも邪魔されず、自身自身の耳や皮膚を通して、心と向き合うことができる瞬間、それが演奏会ではないでしょうか。

これからも、より多くの皆様に私の音楽を聴いていただけるよう、1人でも心が癒されたよと言っていただけのように、ピアニストとして、ステージに立ち続けていきたいと思えます。それが私の夢です。では少し、ここでピアニストになろうと決めたまっかけをお話します。ピアノを始めたのは4歳の時。小さい頃は1日中でもピアノの前に座っていられた子でした。ところが、高校生になった私は、ピアノ以外のこともしてみたい、ピアノだけの人生は嫌だと反発したのです。それから22歳まで、私にとつてのピアノは趣味に過ぎませんでした。

そんな私のピアノ人生に転機を与えてくださったのが、今でも敬愛してやまないナードル教授との出会いです。彼から真の音楽芸術というものを教えていただいた私

は、迷わずナードル教授のいるハンガリー国立リスト音楽院への留学を決意しました。それまで適当にしかやってこなかったわけですから、受験への狭き門をクリアすることは言うまでもなく大変でした。

留学してからの私はとにかく死でした。小さい頃から英才教育を受けてきたピアニスト達に囲まれたハンガリー生活は、苦勞と挫折の連続でした。時にはもうやめようと逃避したこともあります。でも、やっぱりピアノが好き、巧くなりたいたいという一途な思いがコンクールでの入賞につながり、私に自信を持たせてくれました。

ここまで続けてこられたのは、私1人の力では決してあり得なかったことです。両親の理解、協力があり、親以上に私を可愛がってくださる諸先生方がいらつしやり、いつも私の演奏を聴いてくださる友達、音楽愛好家の皆様のおかげだと心から感謝しています。



弓の道を歩くものとして

女子主将 岡田 理那

こんにちは！弓道部です！私たちは現在、男子は3年生6人、2年生6人、1年生22人、女子は3年生6人、2年生5人、1年生22人、合計67人で顧問の浅田先生、日野先生、弓道の経験があり指導をしてくださる檜垣先生のもと、毎日活動しています。

このあたりの中学校には、弓道部がありません。ほとんどの人が高校から始めるので、誰もが気軽に始めることができ、誰もがたくさんの可能性を秘めています。その分、努力次第で自分の才能を伸ばすことができる競技です。

突然ですが、みなさんは弓道にどのようなイメージを持っていますか？弓道は、あまり動かないので「楽そう」というイメージがあると思います。実際、間近で練習しているのを見ると、確かに楽そうに見える。しかし、弓を引くために力もいるし、弓を引く動作の「射法八節」だって覚えなければいけません。「楽そう」というイメージを持っていた人には意外かもしれませんが、弓道とは予想しているよりもはるかに奥が深く難しいです。ただ矢を射るだけの単純な動きではないのか？と思う人もいますが、思いますが、弓道ほど難しい単純な動きはないでしょう。

ここで、弓道とは実際、試合でどんなことをするのか簡単に説明していきたいと思っています。弓道の試合は5人立と3人立で行います。5人立とは5人チームで並んで、前の人が射ったら射つ、というのを繰り返していきます。しかし、その作法も細かく決められており、前の人には絶対ぬいてはいけないというルールもあります。そしてその並び順には弓道独特の名前がついています。前から「大前」「弐的」「中」「落ち前」

「落ち」です。3人立とはこの5つから「弐的」と「落ち前」が抜けたもので、3人チームで同じことをしていきます。そして、試合形式には「立射」と「座射」があります。字の通り、「立射」は動作をすべり立てで行い、「座射」は矢を射つ時以外に座っています。大きな大会となると、大団体が「座射」で行われます。1人の持ち矢は4本（これで1立といえます）で、試合では決勝リーグがある場合、予選のとき2立行われ、計8射です。団体で考えると5人立だと計40射、3人立だと計24射です。弓道にはアーチェリーのように的に点数がないので、的の中心にでも端にでも当たれば○となり、ちなみに1本当たれば1中、2本当たればはわけ、3本当たれば3中、4本すべて当たれば皆中と言います。個人・団体とも当たった本数で、競います。もし当たった本数が相手チームと同数であるならば、競射といって1人1本矢を持ち、5人立だと計5本、3人立だと計3本中何本当たるかを競います。1本でも相手チームより多く当たれば勝ちです。個人戦の場合は、当たった選手が1人になるまで続ける「射詰め」や、1つ的に勝ち残った個人の選手が射つていき、当たった場所が一番中心に近かった選手の勝ちとなる「近寄せ」があります。

このように弓道は個人戦でもあり、団体戦でもあります。団体でも個人でも1本の差で負けるときもあれば、1本の差で勝つときもあります。だから、よく「1本の重み」という言葉が使われます。団体だと40本も合計で射るではないかと言われますが、その40分の1本たりとも無駄にできません。その1本で勝敗が決まるのです。

昨年、先輩達が成し遂げることのできなかった男女ともに県大会出場を、今年成し遂げることができました。地区予選では練習のように実力を出すことができず、悔しい思いをしましたが、みんなできかんだ県大会の出場権。無駄にはできない、自分の力を出し切りしたい、そんな思いを胸に6月2日、私たちは総合運動公園弓道場に向かいました。結果は男女とも予選敗退。やはり県の壁は厚く高かったです。けれど、3年生全員が出場し、勝ち負け関係なくみんなでする最後の「弓道」を楽しめたと思います。たくさんの人からの「がんばって」という声と檜垣先生のご指導があったからこそ、私たちはここまでがんばれたと思います。本当にありがとうございました。

そして、ここまで一緒にがんばってきた3年生。私たちはよく友達に「弓道部って仲いいよね！」と言われてきました。1つしかない弓道場で男女共同で活動するのは大変でした。男女間の考えの違いで色々ありました。しかし、男女関係なく今言えることは、みんなと弓道をするのができて本当によかったです。最高の仲間です！本当にありがとうございました。先輩たち。千羽鶴には本当に力をもりました。これからの弓道部をよろしくお願ひします。

弓を構え28m先の的に矢を向ける。矢を放つ瞬間に見える世界、矢が当たったときの喜びは弓道をする人にしか味わえない特別なもの。「射懸命」、努力を惜しまず。「射入魂」、矢に気持ちを込めて。そこにある限り、私たちは弓を構える。弓の道を歩くものとして。



演劇部

みんなが主役!!

～表現する喜びに魅せられて～

部長 真鍋 慶子



皆さんは、高校演劇を観たことがありますか？なかなか観る機会がない分野なので演劇部にマイナーなイメージを抱いている人も多いと思います。しかし、高校演劇はとつてもさわやかで、愛媛でも大会に参加する学校は意外とたくさんあるんです！また、演劇を通して魅力的な人になるための表現力を身につけることも出来ます。

前置きはこのくらいにして、2年前に再結成され、たった2人でスタートした西高演劇部も、今では11人の部員がいます。顧問の山本健司先生と、指導者のいなかった私たちに一から演劇について教えて下さった、高校演劇のスペシャリストである榎本さん、そして、優しく笑顔のステキな2人の先輩方の支えもあり、私たちは今まで活動を続けることが出来ました。

東予大会では、「私たちはしけたマッチ」という台本で舞台を演じました。この台本は、自分たちで作りました。毎日練習に励みました。何度も台本の書き直しで試行錯誤を繰り返しながら、時に意見が合わず、ぶつかり合ったりしました。そして、大会当日。本校の演技は一番最後でした。他校の実力に圧倒され、緊張は高まるばかり。ついに本番になり、幕が上がりました。たくさんのお客さんの視線

を浴びながら、精一杯自分たちの演技をしました。笑えるシーンでお客さんが笑ってくれると、なんだか勇氣づけられるようでした。先輩や先生、友達に支えられ、無事終わることが出来ました。そして、ついに迎えた結果発表。新居浜西の名前が呼ばれた時、皆信じられない気持ちでした。県大会出場を果たしたのです。

県内の強豪たちが集まる中で、最後の調整。不安と緊張の中、高まる音楽。魅せる演技を目指し、改良に改良を重ねた台本で挑みました。今までの努力を思い出して、全力を尽くしました。その結果、「創作脚本賞」という賞を頂きました。四国大会には出場できなかったけれど、私たちに最高の思い出になりました。

悔しさや心残りはありましたが、皆で1つの作品を作りあげた感動は他の何にも変えられません。大会を通して、他校の作品と正々堂々と戦ったということが、私たちが大きく成長させてくれました。この体験を糧にして、少しずつですが、一歩ずつ確実に前進していきたいです。

そして先程にもあったように、私たち演劇部は他校との交流も盛んです！南高演劇部、柳先生のご指導による「声のレッスン」です。普段私たちは、主に喉を震わせて声を出していますが、震わせる様々な部分の

違いが、そのまま声の響き方の違いにつながるのですが、これに参加して分かりました。演技の幅も広がったように思います。

そして、この「声のレッスン」では1年に1度、新居浜西高のOBでもあり、脚本・演出を手掛ける鴻上尚史さんに「表現力」を向上させることを目的とした演技指導をして頂いています。中でも印象的だったのは「エチュード」です。台本がなく、その場のやりとりから生まれる即興劇のようなもので、とても難しい練習でした。この練習の目的は「他人に見せる日常会話」というものを意識し、表現力を磨くことだと思います。

最後に、私たちの活動がこれまで続けられたのは、やはり私たちの周りにおいて、支えてくれている、家族、先生方、友達のおかげだと実感しています。演劇は、舞台上に立っている人だけが主役でなく、その演劇を支えてくれた人、それを観ている人、全ての人が主役です！そんな「私たちの演劇」を作ってこられて私たちは、とても幸せです。

自分自身の「声」「体」「感情」「言葉」に対して自覚的になることは、難しいことではなく、「表現力」を培うためには、これらの要素を兼ねることが重要なのだと思います。



母校の概況

Nihama-Nishi High School

◆◆◆90周年を迎えて◆◆◆



校長 上田耕三

ご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

*本年度のマニフェストから

昨年度の未履修問題・不幸な出来事の反省を踏まえ、第1に「法令遵守」をあげました。できるだけ情報を公開し、説明責任を果たします。二度と皆様にご心配をかけるないように学校を運営していきたいと思えます。

*50分授業へ

45分授業では50分×35週に換算するとしても学期末に授業時間確保が必要となるため、昨年度の反省を踏まえ今年度から50分授業にし、週3回(火・水・金は7時間、月・木は6時間授業に変更しました。教える内容を精選して

臨んだ3年間の45分7時間授業から得たノウハウを生かし、延びた5分間を有意義に使ってさらに学力向上につなげたいと思います。

*ティームティーチングと少人数授業

高校で徹底しなければならぬ内容が増加しています。難関大学の要求する学力水準はゆとり教育前とあまり変わっていません。2人の先生で教える内容を徹底するティームティーチングを国語に、2クラスを3講座に分けて基礎基本を徹底させる少人数授業を英語に、ともに1年生に取り入れました。ゆとり教育で進学してきた生徒に学習の方法から教え、秘められた能力を伸ばしていきたい

*伝統・校風を受け継ぐ

90周年を迎えるに当たり、校訓に基づいた数値目標を設定しました。部活動加入率80%以上、国立大学合格者数150名以上等ですが、「自律生活」「自主学习」「自己鍛錬」、今年の卒業生は学習に集中できない困難な時期をこの校訓の下に克服しました。国公立大学合格者数174名。西高生の底力を感じました。

記念すべき100周年に向け、伝統と校風を受け継ぎ、さらに発展させるべく努力を続けたいと思います。同窓生の皆様には今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

樟樹会の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃から母校新居浜西高等学校の教育諸活動を対し、格別のご支援・ご協力を賜っておりますこと、心より厚くお礼申し上げます。

本校は今年創立90周年を迎えます。同窓生の皆様が管々と築いてこられました伝統と校風を守り、さらに発展させていくために全力を尽くす所存でございますので、



90周年記念行事予定

1 主たる行事

記念式・同窓生による記念講演
 (大和ハウス工業 代表取締役社長 村上健治氏)
 記念誌発行(80周年～90周年の記録、家庭科の記録)
 国旗・校旗掲揚台設置(同窓会寄付)

2 関連する行事

90周年記念文化祭(6月)
 90周年記念秋季運動会(9月)
 記念式・記念講演後に芸術文化鑑賞会(市民文化センター)

3 記念式・記念講演予定月日

平成19年10月26日(金)
 記念式
 記念講演
 芸術文化鑑賞会

4 90周年記念テーマ・サブテーマ

テーマ 「輝きの軌跡90年」
 サブテーマ ―翼を広げ、夢のその先へ―
 西田瑞穂さん(平成19年卒)

5 90周年記念シンボルマーク



デザイン
 3年4組 宮田愛里さん(美術部)

6 90周年記念品

記念式当日に記念品(品目未定)を配布

▼教職員の異動

転入

校長 上田 耕三 (1月1日付)
 教頭 津村 和芳 三島
 国語 日野 真紀 今治北
 地公 西原 潤二 西条
 地公 石川 和生 三島
 地公 神野 唯男 新居浜商
 数学 高橋 昭彦 小松
 数学 板東 大輔
 理科 永井 瑞樹
 理科 田村 謙悟 今治南
 英語 菊地 千幸 三島
 英語 檜垣 美博 (非常勤)
 実助 矢田 弓子 新居浜南

転出

校長 政岡 博 退職
 教頭 檜垣 美博 退職
 国語 山中 達也 三島
 地公 佐伯 孝史 西条
 地公 井上周一郎 北宇和
 地公 森本 正樹 退職
 数学 安房 道幸 三島
 数学 中井 賢哉 松山南
 理科 宮本 秀昭 今治北
 理科 門田 将和 長浜
 保体 佐伯 雄次 今治南
 芸術 今井 浩子 今治南
 英語 松澤 裕紀 伊予
 英語 高橋ゆかり 八幡浜
 家庭 濱田 己知 今治養護
 家庭 小西 歩美 西条農
 実助 神野 雄子 西条

▼24名の同窓生が母校の教壇に立つ

(氏名)	(卒業年)	(教科)	(氏名)	(卒業年)	(教科)
中野 静江	S 45	実助	五味むつみ	S 61	国語
堀崎 勇人	S 46	地公	井川 美穂	S 62	英語
津村 和芳	S 46	教頭	松長 健治	S 62	数学
石川 美千子	S 47	国語	井川 紀英	S 63	英語
佐々木利夫	S 48	教頭	日野 真紀	H 3	国語
鴉 裕子	S 49	国語	藤田 和生	H 6	理科
近藤 千晴	S 54	青貴	小池 佳子	H 9	英語
渡邊 洋人	S 54	地公	尾崎久美子	H 11	理科
渡邊 夏実	S 55	国語	寺井 美保	H 11	英語
浅田 武裕	S 57	数学	森本 弘子	H 11	国語
星加 啓子	S 58	保体	下田 賢吾	H 12	実助
星加 S 60	S 60	英語	瑞樹 H 13	H 13	理科

▼大学合格一覧

最近3カ年の総合合格者数と、大学別合格者数の一部を紹介しておきます。

	17年	18年	19年		17年	18年	19年
国公立大	137	144	183	京都大	6	1	2
私立大	421	519	430	大阪大	4	5	6
				神戸大	1	1	2
北海道大	3	1	0	岡山大	11	15	20
東北大	1	0	1	広島大	10	4	13
筑波大	0	1	6	愛媛大	28	38	60
東京大	1	1	0	九州大	2	6	5

▼年間行事計画

月	日	行事
4	9	全日制入学式・1学期始業式・定時制入学式
5	12	P T A総会
	21	1学期中間考査(～24日)
6	1	県総合体育大会(～4日松山市)
	21	西高祭
	28	1学期期末考査(～7月4日)
7	20	1学期終業式
	27	2学期始業式
8	8	運動会
	9	県総合体育大会(定時制 通信制)
10	2	2年生2学期中間考査(～5日)
	8	2年生修学旅行(～12日)
	9	1・3年生2学期中間考査(～12日)
	26	創立90周年記念行事
11	8	定時制運動会
	30	2学期期末考査(～12月6日)
	20	2学期終業式
12	1	3学期始業式
	19	大学入試センター試験(～20日)
	29	3年家庭科学年末考査(～31日)
2	28	学生未考査(～3月6日)
	1	全日制卒業式
3	7	定時制卒業式
	19	3学期終業式



水泳女子 星加 真帆さん 2冠!!

(自由形 200メートル・400メートル)

6月1日から6月4日(水泳は6月16日・17日)にかけて、県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも202名の生徒が参加し、各競技で活躍した。主な結果は左記の通り。

平成19年度県高等学校総合体育大会成績

■陸上競技(男子)

100m 西原 克彦(5位)
※四国大会出場

■陸上競技(女子)

800m 富士田 絢香(6位)
※四国大会出場

3000m 安富 利栄(17位)

走幅跳 佐々木 菜美(11位)
やり投 森 ほたる(12位)

■ハンドボール

1回戦 新居浜西 15-18 松山南

■バスケットボール(男子)

1回戦 新居浜西 42-106 新田

■バスケットボール(女子)

1回戦 新居浜西 50-62 東 温

■バレーボール(男子)

1回戦 新居浜西 0-2 今治工業

■バドミントン(男子)

団体戦 新居浜西 3-0 三 島

準々決勝 新居浜西 3-1 松山東

準決勝 新居浜西 1-3 新 田
※四国大会出場

ダブルス

ベスト8 近田・関谷組

シングルス

ベスト8 関谷 圭石

■バドミントン(女子)

団体戦 新居浜西 3-0 松山中央

2回戦 新居浜西 3-0 松山南

準々決勝 新居浜西 3-0 新居浜東

決勝 新居浜西 0-3 新 田
※四国大会出場

ダブルス 高橋・福島組、元山・永易組

ベスト8 高橋 奈緒

■サッカー

2回戦 新居浜西 5-2 只ウエルネス

■ソフトテニス(男子)

団体戦 新居浜西 3-0 伊 予

1回戦 新居浜西 1-2 北宇和

ダブルス 代表決定戦 村上・小溪組
※四国大会出場

■ソフトテニス(女子)

団体戦 新居浜西 3-0 東 温

1回戦 新居浜西 2-0 宇和島南

2回戦 新居浜西 2-1 罗多ウナ

3回戦 新居浜西 0-2 松山商業
※四国大会出場

準決勝 新居浜西 0-2 松山商業

■テニス

団体戦 新居浜西 0-3 今治南

1回戦 新居浜西 0-3 八幡浜工業

■卓球(男子)

団体戦 新居浜西 0-3 八幡浜工業

■卓球(女子)

1回戦 新居浜西 1-3 松山商業

ダブルス 今川・伊藤組

■柔道

女子52kg級 ベスト8 高木 梓

■剣道(男子)

団体戦 新居浜西 1-1 小田
(代表負け)

■剣道(女子)

1回戦 新居浜西 1-4 大洲農業

■弓道(男子)

団体戦 新居浜西 18位

■弓道(女子)

団体戦 16位

■ダンス

第5位

■登山(男子)

棄権

■登山(女子)

第3位

■新体操

個人総合 佐野 有彩(3位)
※四国大会出場

■空手道

形・組手 1回戦 笠原 久規

■水泳(男子)

平泳ぎ 井上 達貴(8位)

■水泳(女子)

自由形 200m 星加 真帆(1位)

400m 星加 真帆(1位)

800m 石川 真衣(6位)

平泳ぎ 高津 愛(3位)

100m 高橋理沙子(7位)

背泳ぎ 高津 愛(5位)

100m 高津 愛(5位)

個人メドレー 石川 真衣(4位)

400m 高津 愛(5位)

400mメドレーリレー 3位

※8位以内四国大会出場

新居浜の動き



70周年ロゴマーク

新居浜市は 70周年を迎えました

新居浜市は、昭和12年11月3日、新居浜町、金子村、高津村が合併し、新居浜市となり、その後、昭和28年に垣生、神郷、多喜浜、大島の4か村と、同30年に船木、泉川、中秋、大生院の4か町村、同34年には角野町と合併し、さらには、平成15年に、平成の大合併の県下の先陣を切り、別子山村と合併しました。

今年、市制施行から70周年という記念すべき節目の年となります。この大きな節目を迎えるにあたり、先人たちの功績を継承するとともに、新たな魅力と活力に満ちた「新居浜」らしさを創出するきっかけとするため、『温故知新く伝えよう未来へ』をテーマに、各種記念事業が実施されます。なお、主な事業は、次のとおりです。

広瀬記念館特別記念展
日時 7月1日～31日（予定）
場所 広瀬歴史記念館
内容 別子銅山関連の近代化産業遺産群の歴史の意義を様々な資料により紹介する企画展です。

70周年記念誌刊行
月日 10月初旬
内容 新居浜を代表する「太鼓台」「産業遺産」「お手玉」について、未来へ伝えるための記念碑的な刊行物として、3部セットで販売します。

太鼓祭り統一イベント
日時 10月16日～17日
場所 市内3か所（予定）
川西・川東西部・川東地区については、10月17日に新高橋西詰南側の国領川河川敷で、上部地区については、10月17日に山根グラウンドで、大生院地区については、10月16日にM2大生院店で開催される予定です。

市制施行70周年記念式典
日時 11月3日

問合せ 新居浜市総合政策課
☎0897-65-1210

NHKのど自慢公開録画
日時 2月24日
場所 市民文化センター大ホール
内容 NHKとタイアップした、全国放送公開番組を行います。

変わるゆく風景
～進む新居浜駅前土地区画整理事業～
昨年引き続き、新しい本市の顔となる新居浜駅前土地区画整理事業の進展状況について報告します。写真1は、昨年10月現在の航空写真です。

場所 市民文化センター大ホール
内容 市民および招待者とともに、市制施行70周年を慶賀し、今後さらなる飛躍発展を願う記念式典の開催します。

問合せ 新居浜市総合政策課
☎0897-65-1210

問合せ 新居浜市総合政策課
☎0897-65-1210

また、行事等の詳細については、新居浜市のホームページで、随時更新される予定です。

70周年のロゴマークについては、市内在住のデザイナーである曾根輝夫氏によるもので、70周年を示す70の数字の中に、市花である「つつじ」を重ね合わせ、花言葉である「情熱」を持つて、新居浜の歴史と未来に思いを寄せるイメージをデザインしたものです。



写真1



写真2



本部だより

平成18年度 樟樹会一般会計収支決算書

収入の部 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

項目	18年度予算額	18年度決算額	備考
前年度繰越金	3,945,666	3,945,666	
入会金(全日制)	3,110,400	3,030,400	947人(延べ人数)
入会金(定時制)	230,400	201,600	21人
雑収入	1,000	976	預金利息・貯金利子
運営会費	1,000,000	933,000	171人(3,000円/1口) 補助会費費7人(10,000円/1口)
収入合計	8,287,466	8,111,642	

支出の部

項目	18年度予算額	18年度決算額	備考
会合費	900,000	1,477,476	理事会・総会補助
慶弔費	50,000	40,000	饗別・香典
人件費	1,260,000	1,260,000	賃金
事務費	120,000	105,247	
同窓会費	15,000	15,000	全日制2名 定時制1名
入会祝	700,000	693,000	全日制329名 定時制21名
支部への補助金	150,000	70,000	近畿支部総会お祝い金
旅費	200,000	95,000	近畿支部総会出席
生徒への補助金	500,000	625,000	四国・全国大会補助
その他の事業費	150,000	159,700	高校野球広告料他
通信費	250,000	230,482	電話代 切手・葉書代
雑費・予備費	200,000	237,828	運営会費徴収に関する費用他
次年度繰越金	3,792,466	3,102,909	(現金) 18,330 伊予銀行新居浜支店(普通預金) 2,178,086 新居浜西原町郵便局(通常貯金) 243 税務局金庫センター(加入口座) 906,250
支出合計	8,287,466	8,111,642	

平成19年度事業計画(案)

月日	会合名	事業内容
3月31日	樟樹編集委員会	「樟樹」18号印刷所承認・概要相談
4月12日	会計監査	平成18年度会計帳簿類
4月23日	樟樹編集委員会	「樟樹」18号原稿依頼先および責任者決定
5月12日	第1回常任理事会	平成18年度事業報告 平成18年度会計決算報告 平成18年度会計監査報告 平成19年度役員改選 平成19年度事業計画案審議 平成19年度予算案審議 その他
5月15日	第1回理事会	平成18年度事業報告 平成18年度会計決算報告 平成18年度会計監査報告 平成19年度役員改選 平成19年度事業計画案審議 平成19年度予算案審議 その他
5月21日	樟樹編集委員会	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ
6月11日	樟樹編集委員会	前回分校正・第2次原稿持寄り
6月18日	樟樹編集委員会	校正
6月19日	第2回常任理事会	平成19年度総会の準備について 総会の議事内容、運営方法、会員券の販売 招待者、チラシ、ポスター等 その他
6月20日	第2回理事会	平成19年度総会の準備について 総会の議事内容、運営方法、会員券の販売 招待者、チラシ、ポスター等 その他
6月21日	西高祭支援	模擬店(たこ焼き・焼きそば・フランクフルト・西高どら焼き・ラムネ販売)
6月25日	樟樹編集委員会	最終校正
7月15日		「樟樹」18号発行
8月4日	総会・懇親会	平成18年度事業報告 平成18年度会計決算報告 平成18年度会計監査報告 平成19年度役員改選 平成19年度事業計画案審議 平成19年度予算案審議 その他
1月下旬	第3回常任理事会	平成19年度の反省及び平成20年度の予定 役員の構成について その他
2月上旬	第3回理事会	平成19年度の反省及び平成20年度の予定 役員の構成について その他
2月下旬	同窓会入会式	新会員へ入会記念品贈呈
3月上旬	同窓会賞授与	卒業式にて授与(全日制2名 定時制1名)

愛媛県立新居浜西高等学校創立90周年記念事業募金趣意書

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

愛媛県立新居浜西高等学校は、平成19年5月3日をもって創立90周年を迎えることになりました。大正6年5月3日、新居浜実科女学校として開校して以来、時代の流れにより幾多の変遷を経たのち、昭和24年9月、愛媛県立新居浜西高等学校となり今日に至っております。

母校は、大正・昭和・平成の三代にわたり、愛媛県における教育の向上に多大な貢献をし、戦後の学制改革後はその輝かしい歴史と伝統をさらに発展させ、進学はもとより、現在での運動部・文化部の活躍にも繋がっております。この素晴らしい活力と自由な精神にあふれた母校に学び、巣立っていった卒業生は30,000人を超え、国内はもとより広く海外にも雄飛し、各界で活躍されておりますことは、誠に喜ばしいことであります。

このたび記念すべき100周年を前に、創立90周年を大きな節目ととらえ、それを記念するに相応しい事業・行事として、どういったものが良いか検討を進めてまいりました。学校側とも話し合いを重ねました結果、国旗・校旗掲揚台の設置、記念誌刊行、並びに記念行事を開催したい、との要望があり、それらの事業を計画いたしました。各会員におかれましては何とぞご趣旨をご理解くださいまして、絶大なご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、皆様方の浄財により新調いたします、国旗・校旗掲揚台は、最終的には寄付採納により愛媛県へ帰属することになりますことをご了承ください。

愛媛県立新居浜西高等学校
創立90周年記念事業支援実行委員会

年内受付中

振込先

郵便局 番号 01640-5-56084
名称 新居浜西高等学校
周年記念事業実行委員会
伊予銀行 支店 新居浜支店 番号 1-4033149
名称 新居浜西高等学校周年記念事業
実行委員会 代表者 畑田 雅敏

平成18年度の、樟樹会総会・懇親会が平成18年8月5日(土)、「リ－ガロイアルホテル新居浜」にて開催されました。多くの会員が集い、賑やかで楽しい夕べとなりました。合唱部による賛助演奏が披露されました。



会員からの便り

同期会便り

藤縄洲二（昭和41年卒）

冗談で、今度は60歳の定年前に東京、大阪、新居浜の間中くらいでやろうな！って言った事が現実となって、昨年3月奈良の地で3回目の同期会が開催される事となり、東大寺二月堂のお水取りの真つ只中、猿沢の池のほとりのホテルに60人の仲間が集まる事になったのです。実はこのホテルは同級生が嫁いで女将となっていて、無理を聞いてもらって貸切りとなつた次第なのです。



酔う前にホテルの側の石段で記念撮影しようということになり、中学校の修学旅行のとき記念写真を撮つた見覚えのある階段で、奇しくも45年の時を経ての撮影となりました。分かり易いように50音順で並ぼうということになりましたが、これが又わいわいがやがやと騒がしく個性派集団の本領発揮でした。

丁度オイルショックの時に社会へ出て高度成長期をがむしゃらに駆け抜け、経済大国の一翼を担つた団塊の世代の先頭を切つて今年還暦を迎え退職の時、同期集まつて語ろうと言う企画でしたが、1泊と言う事もあつて夜遅くまで酒を酌み交わし、おおいに歌い語り合つた楽しい日となりました。翌日は久しぶりに東大寺に拝観していまさらながらに大仏様の大きさに感嘆したり、奈良公園の鹿と遊び、更には法隆寺まで足を伸ばして初春の斑鳩の里を散策したりと、皆それぞれの心の中に大きな節目としての思い出の旅として刻む事が出来ました。

41年卒業生は、現在東京会、大阪会、新居浜と大きくグループと

なつていろいろなと活動しています。この文を読んで是非交流したいと思われた方は連絡いただければと思つています。ちなみに同級生での結婚は私を含めて8組となつていることを報告しておきます。

また、昨年より西高樟樹会前会長の長野氏の呼びかけで、大阪と新居浜とで対抗ゴルフとグルメの会を催して、昨年は淡路・徳島、今年は大山で行いました。1泊で奥さん同伴でも良く、ゴルフなしの観光でもよしとしていたので、東京もぜひ参加してもらつて盛大に交流できればと思つています。またホテルは同期生の村上氏が社長のホテルグループを格安でお世話頂いて、持つべきものは友達だなど参加者一同で感謝しています。

60歳ともなると余命を考えるようになりまふ。あと長くて20年、それまでに、幕を閉じるかもしれない人生ですが、心の中はいつまでも青春、西高時代の運動会でボスターをつくつたり、仮装行列に苦心した頃のままであつて、その頃の友と西高卒業生として会える幸せを今しみじみと感じています。

奈良の同期会に出席の、ある高校の女の先生は後日幹事への礼状の中で「40年経つても又再会できる仲間になれるわけだから寂しくないのですよね！卒業式の日には、高校

時代の仲間はいつまでも大切にね」と話してあげようと思つています。」と……

次回は祭りを見たいというリクエストに答えて、2年後の2009年10月のリーガロイヤルホテルをすでに予約している幹事なのであります。と言つても実は、全て妻ハーコちゃんの采配でありまして、持つべきものは同級生の妻という事でしょうか。



同期会便り

新居浜西高等学校 卒業50周年を迎えて

玉井 千鶴子（昭和32年卒）

去る5月19日、昭和31年度卒業生の同期会を開催いたしました。

当時249人が学舎を去り、50年が過ぎましたがその間「物故者」に成ったのが29人でした。220人の内70余名の参加者を迎えてリーガロイヤルホテル伊予の間に於いて「卒業50周年・創立90周年・古希」と3つも記念すべき事が重なった「記念同期会」を行うことが出来ました。

当時の恩師「斉藤 由勝先生・越智 寛先生・本宮 健次郎先生」の三方のご出席を仰ぎ、とても有意義且つ懐かしい同期会に成りました。生徒達が古希を迎えた現在、恩師の方が若々しく感じられる程で胸に付けた名札で辛うじて恩師と生徒の区別が付いた次第です。中には50年ぶりの再会を果たした面々もありましたが、話していく内にいつの間にか18歳当時の面影に戻っていくのが感じられ、同期会の良さを改めて噛みしめました。思い起こせば昭和32年・1957年は、

国内的には「鍋底不況」「学卒の初任給が1万3800円と歌われ」国際的

には「ソ連が人工衛星を打ち上げ」石原裕次郎が「俺は待つてるぜ」と、何か今までと違

世の中が変わろうとした激動の始まりの年でもあったように思います。当時の学園生活もおおらかで、生徒間のコミュニケーションも密であったので何年経っても同期生の絆が強いのではないかと思っています。それだけに卒業して50年後に又、一堂に会することが出来たのではないかと感じています。

一口に50年と言っても、それぞれの人生がそれぞれの人生を歩んで来た訳ですが、この会に出席できた人たちは本当に「幸せ者」と言えますよ。

久しぶりに青春時代に戻れた感動を引きずりながら、当日の集合



写真を添付して、来年以降も後輩達が後に続いてくれることを願っています。
今回のメンバーが欠けることなく、10年後にも再び相まみえることが出来るよう……「新居浜西高万歳！」で締めくくりましたよ。

第11回近畿くすのき会開催

近畿くすのき会第11回総会が平成18年7月1日土曜、大阪全日空ホテルにて開催されました。

懇親会では、日本のお手玉の会（主宰、藤田石根さん（昭和31年普卒））による日本の伝承文化「お手玉」のお話と実演がありました。



第7回 松山樟樹会開催される

平成18年11月18日、松山JALホテルで第7回松山樟樹会が開催されました。総会に先立ち、初めての試みとして、18時から昭和32年卒で京都大学名誉教授土岐憲三氏による記念講演が行われました。演題は『予想される南海地震対処法』で、外部からの参加もあり、約80名が熱心に聞かれて、予定時刻を15分程オーバーして終了しました。



19時15分から総会が行われ、50名出席しました。藤田伸夫会長（44年卒）の挨拶に続き、本会から畑田雅敏会長に挨拶して頂きました。続いて、校長職務代行の檜垣美博教頭から本校に関する説明があり、議事に移りました。会計報告、監査報告、役員選任とスムーズに進み、総て承認されました。

19時30分から、太鼓台DVDを見ながら、初代会長の岡田三郎氏（29年卒）の乾杯で懇親会が始まりました。宴もたけなわとなった頃、恩師挨拶として、4名の先生方からお言葉を頂き、じゃんけんゲーム、校歌斉唱、おてつないでと進み、21時お開きとなりました。

今回は3年後の秋、開催の予定です。中予地区の皆さん、是非参加して下さい！

加藤弘正（52年卒）

計報

謹んでご冥福をお祈りいたします。

第25代校長の政岡博氏が、平成18年11月6日に
ご逝去されました。

(59歳)



東京樟樹会会長の藤原忠麿氏（昭和28年普通科卒）が、平成19年3月5日にご逝去されました。

(72歳)



トランペット未来塾“2007”のご案内

日本でも指折りのトランペット奏者としてまた、上野の森プラスのコンサートマスターとしても著名な曽我部清典（昭和46年）さんですが、恒例となつた「トランペット未来塾」を開催されますので、ご案内します。

日時 8月10日～8月12日

場所 マリンパーク新居浜（新居浜市垣生3丁目乙324）

内容 音を出すという基本から、何人かでのアンサンブル体験やピアノ伴奏での独奏など、受講生にはレッスンとアンサンブル発表会、また、夜には、講師の演奏も予定しています。

問合せ ㈱ハートネットワーク 井上 TEL 0897-32-7777

新居浜西高を、昭和42年3月に卒業して、はや40年を超えました。そこで、3年前のお約束の通り、オリンピックイヤーの来年!! 同期の仲間の大半が、還暦を迎える来年!! 下記要領にて、同期会を、開催する予定です。
今すぐ、8月13日の予定表を埋めて下さい。久しぶりに、お互いの元気な顔を見せ合おうではありませんか。万障繰り合わせの上、御出席下さい。

記

日時： 2008年8月13日（水）18：30～

場所： リーガロイヤルホテル新居浜 〒792-0007 新居浜市前田町6-9 TEL 0897-37-1121

会費： 7,000円位

2次会： 近くの場所を予定しております。

昭和42年同期会を成功させる会

会長 山内 仁

連絡先 〒792-0026 新居浜市久保田町3-6-20 TEL 0897-33-4756

副会長 本田 晴司 森賀 盾雄 浦川 朱美

理事 有光 康二 近藤 司 高橋 英吉 長野 英行 永易 哲朗

松原潤一郎 矢暮 博 上利 悦子 森戸みや子 以上

昭和42年同期会 開催の御案内

編集後記

18号の発行にいたりました。皆様の温かいご支援により今号も発行できまこと、深く感謝申し上げます。今年の水不足が心配されていますが、発行される頃は解消されていますが、いのですが……。

ご承知の通り本校は創立90周年を迎え、記念の行事が行われていますが、主たる行事は秋に行われます。したがって、本号には間に合いませんので、次号にてその様子をお伝えいたします。また、90周年記念号としますので、読者のみなさんから、在学中の思い出（当時の貴重なお写真を添えて）など90周年によせてのご投稿をいただければと思っております。

編集委員長 近藤 博司（昭44）

委員 藤本スズ子（昭18） 安藤 寛和（昭58）
井上 和子（昭20） 五味むつみ（昭61）
世良 賢克（昭26） 越智 孝司（平2）
武田 信之（昭28） 日野 真紀（平3）
近藤 司（昭42） 西村 剛（平7）
畑田 雅敏（昭44） 佐藤 尚史（平8）
伏見 紀子（昭44） 寺井 美保（平11）
塩崎 勇人（昭46） 日野 愛子（平12）

発行所

樟樹会

〒792-0024 新居浜市宮西町4-146

TEL 0897-32-4331

FAX 0897-32-4331

発行者

畑田 雅敏

編集者

近藤 博司

印刷所

株式会社サラト

平成19年7月15日

